

テラブレーション in TOKYO 2016



プログラム 13:00~16:30

1部：語りと活動

3人の語り手に、語りとともに地域の現状及び活動状況を話していただきます。

針尾郁子（長崎）・・・平戸の幼稚園、学校に絵本の読み聞かせとおはなしをとどけている。
高齢者への語りや、一人語りではキーボードなどの弾き語りも。

中川哲雄（東京）・・・「物語屋」として多様なパフォーマンスの形を開拓しつつ、地域に伝わる
お話しや個人の“ものがたり”づくりも手がける。ものがたり教室講師。

足立茂美（鳥取）・・・子どもの言語発達に関する専門科目「言葉」で2013年まで鳥取短期大学
などで講師を務める。おはなし文庫「繭」主宰。
著書『絵本で出会った子どもたち』他

2部：交流タイム

～お飲み物やおつまみ、お菓子をどうぞ～

3部：語りと音楽

語りと音楽のコラボレーションをお楽しみください。

「フランダースの犬」（ウィーダ作より）

語り：大竹麗子 ピアノ：倉林晶子

「秋から冬、いろいろ…」 ピアノ、歌：倉林晶子



大竹麗子

1983年児童文化機関「おはなしかご」開設、現在に至る。

魔法使いの学校校長。

千葉県明德短期大学講師、自由の森学園特別非常勤講師ほか。

『小さなおはなし集』をはじめ様々な児童文化教材を創作、出版。

ホームページ上で掲載中（すべて大竹のオリジナル作品）。本会会員。

倉林晶子

武蔵野音楽大学声楽科卒業、「歌の花束」主宰。在学中より、美しい日本語を語るように歌っている。

「おはなしかごコンサート」で全国に語りと歌のハーモニーを届けている。



テラブレーション・・・ Telling（語り）と Celebration（祝典）をつなぎ合わせて TELLABRATION！

これは提唱者の故 J. G. パウパウ・ピンカートン氏が名付けた造語です。アメリカの National Storytelling Network が世界中に呼びかけている「**語りの心の交流の祭り**」です。身近な人たちに語りの楽しさを知ってもらおうという願いをこめて、毎年サンクスギビングデーの前週末に行なわれ、その夜各会場の語り手たちや聴衆は世界中の人々と語りの友情の輪で繋がっていることを喜び合うのです。

テラブレーション・ジャパン・・・日本では、1995年より「語り手たちの会」が、11月をテラブレーションの月として、全国に語りの集いの開催を呼びかけて始まり、2年後の1997年（第3回）より、「全日本・語りの祭り実行委員会」（現在の全日本語りネットワーク）がこれを引き継ぎ、全国に開催を呼びかけています。